

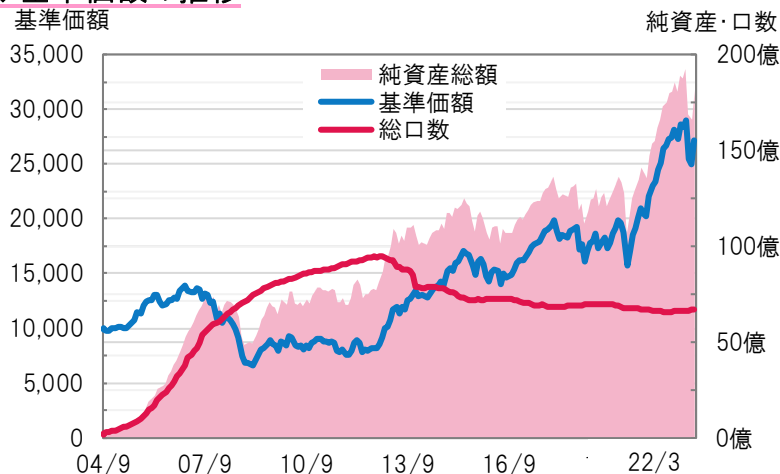
2022
4月

ありがとうファンド 月次運用レポート

第212号②【基準日 2022年3月31日】



◆基準価額の推移



◆ファンドの情報

基準価額	27,106円
純資産総額	181億30百万円
口座数	4,984
積立割合	51.3%



REFINITIV LIPPER
FUND AWARDS

2022 WINNER
JAPAN



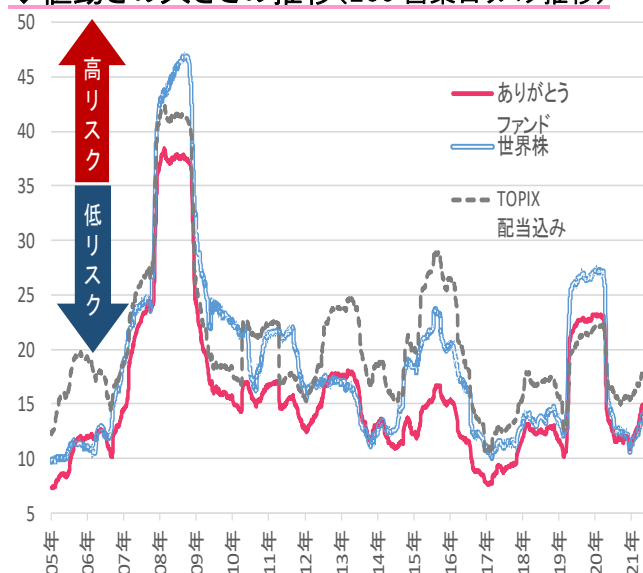
投資信託10年部門
優秀ファンド賞
R&I Fund Award 2021

◆ファンドの騰落率

ファンド/参考指数	1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	年率複利	標準偏差	設定来
ありがとうファンド	+8.8%	▲0.7%	+7.9%	+51.6%	+63.7%	+203.3%	11.63%	15.1	+171.1%
世界株 (配当込み、円)	+6.6%	+7.3%	+14.7%	+54.6%	+77.0%	+257.9%	13.48%	17.6	+378.0%
TOPIX配当込み	+4.3%	▲2.8%	+2.0%	+31.2%	+44.3%	+183.3%	10.88%	16.6	+143.2%

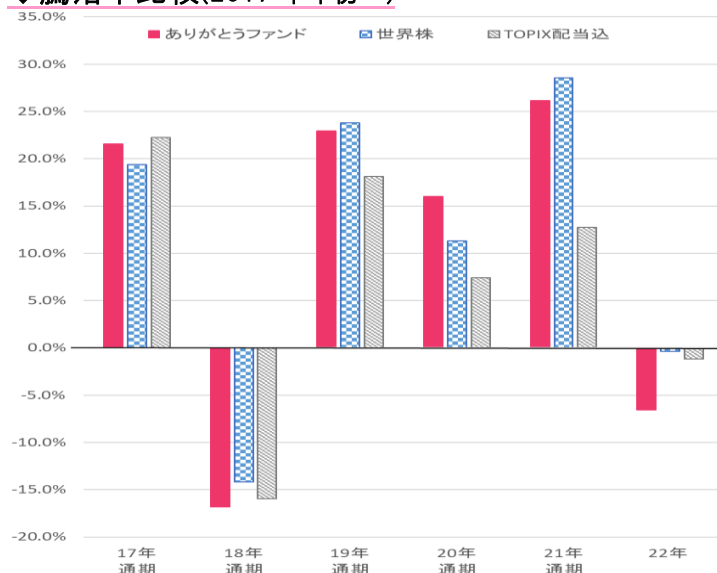
※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、過去10年間の月末時点基準価額データを基に弊社にて計算しております。設定来騰落率については、ありがとうファンド設定日の2004年9月1日からの騰落率になります。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

◆値動きの大きさの推移(250営業日リスク推移)



※値動きの大きさの推移について: 設定来の日次リターンを基に過去250営業日のリスク(日次リターンの標準偏差の年率換算値)の推移を表したものです。簡単に説明すると、数値が高いほど日々の値動きの幅が大きいことを表し、逆に数値が低いほど日々の値動きの幅が小さいことを表します。ありがとうファンドは値動きの幅を低位に抑える運用を心掛けています。

◆騰落率比較(2017年初～)

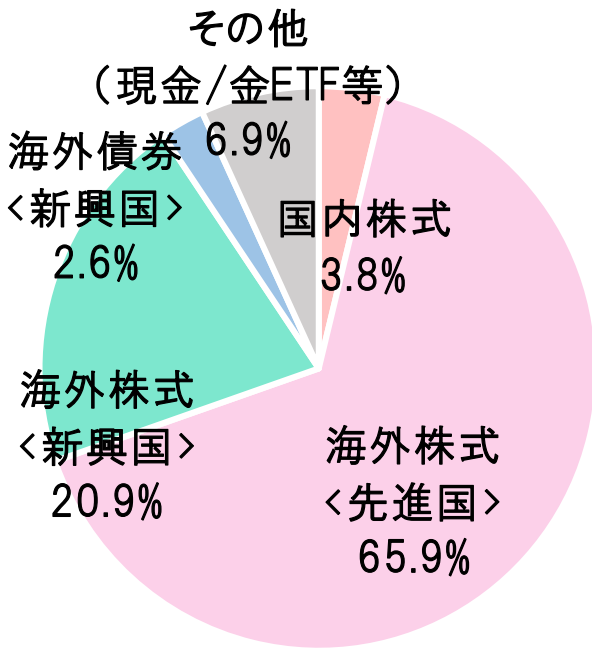


ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



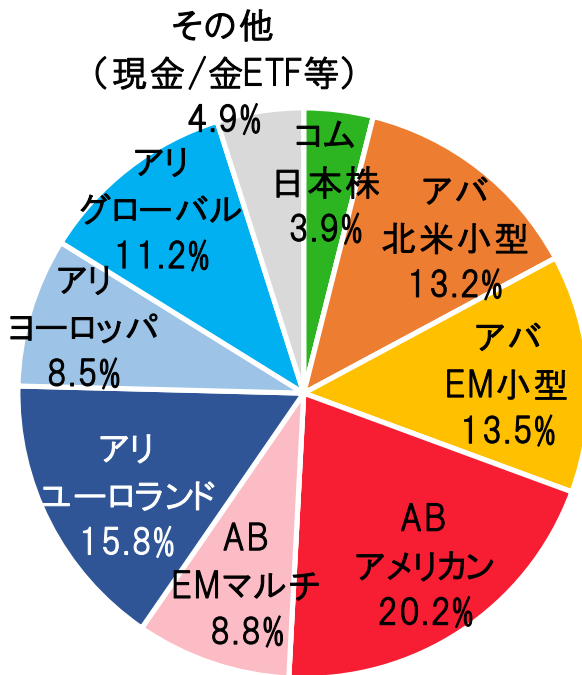
◆資産配分(2月末時点)



地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	3.8%	6%	-2.2%
海外株式<先進国>	65.9%	65%	+0.9%
海外株式等<新興国>	23.5%	23%	+0.5%
その他(現金/金ETF等)	6.9%	6%	+0.9%



◆ポートフォリオ(3月末時点)



◆アクティブシェア(12月末時点、原則四半期末開示)

ファンド名(略称)	アクティブシェア※	参考指数
コムジェスト日本株式	77%	TOPIX
アバディーン北米小型	95%	ラッセル2000
アバディーンEM小型	96%	MSCI EM スモールキャップ
ABアメリカン・グロース	61%	ラッセル1000グロース
アリアンツ・ユーロランド	60%	S&Pユーロゾーン・ラージミッドキャップ・グロース
アリアンツ・ヨーロッパセレクト	68%	S&Pヨーロッパ・ラージキャップ・グロース
アリアンツ・グローバル	83%	MSCI オール・カントリー・ワールド

※アクティブシェアとは、各ファンドのベンチマークもしくは参考指数に対して異なる割合を表しています。上記のアクティブシェアは各ファンドの運用会社の開示を基に掲載しています。



◆直近のマーケット動向について

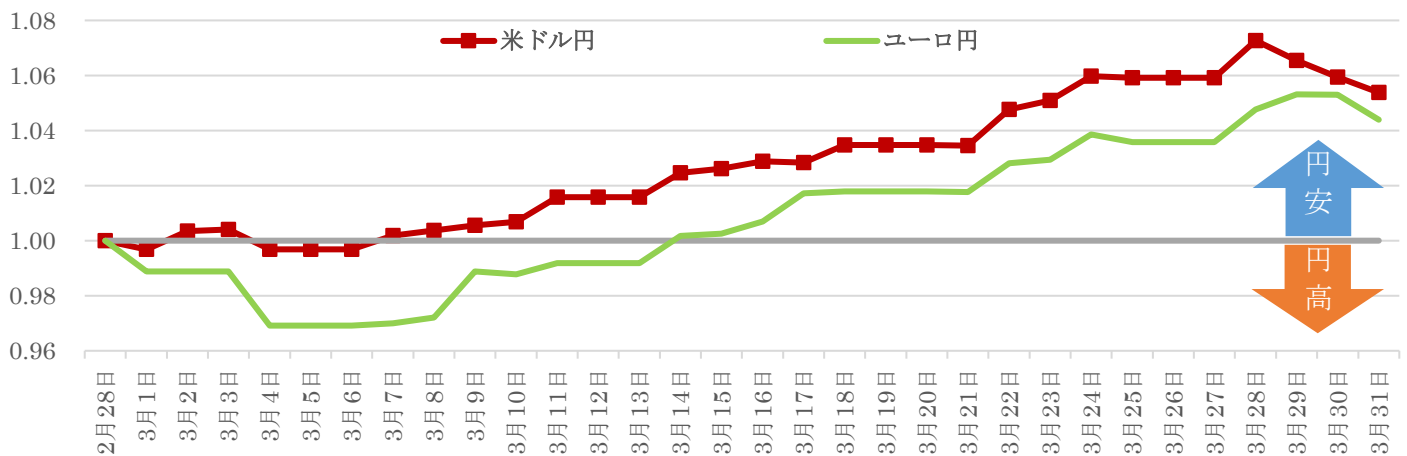


3月のマーケットはどうだったの？ ウクライナでの戦争はまだ続いているわね。最近身の回りで
値上げが相次いでいるわ、私にも5,000円ばらまいてほしいぐらいよ。

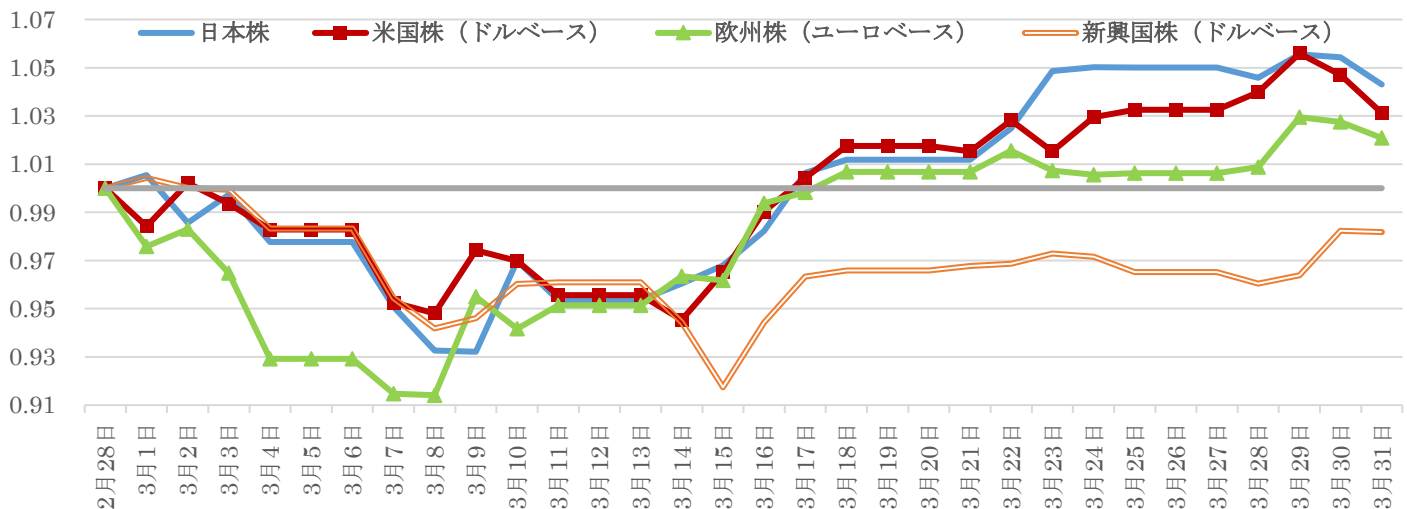


3月のマーケットの動きですが、月の前半と後半で大きく異なる展開の1ヶ月でした。月前半では、ロシアによるウクライナ侵攻の継続とそれに伴う原油や商品市況の変動からリスクオフの相場展開になりました。特にウクライナとロシアに地理的に近い欧州株式市場は大きく下落しました。月中盤から後半にかけては、**FOMCで利上げ**開始が決定され、おおむね想定通りの内容で、材料消化からの買戻しによる上昇相場に転じました。特に日米での金利差が意識され、金利の高い米ドルが買われ円が売られる展開が続く、一時ドル/円は125円まで急速に円安が進行しました。ガソリンの値段も引き続き上昇した1か月でしたね。原材料高だけではなく物流コストも上昇するので、これからも日用品の値上げは続くことでしょう。5,000円**バラマキ**で参議院選の票を買おうなんて、ふざけた話ですよ〜。**こんなことが続くと税金を納めるのもバカらしくなっちゃいますよね〜**

【米ドル円、ユーロ円推移】2022年2月28日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2022年2月28日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(使用している指数についてはレポート最終ページの注記を確認ください。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記の主要株式指数推移を参照していただくとお分かりいただけますように、今月は現地通貨ベースで相対的に日本株式市場の上昇が強い1か月になりました。ウクライナ情勢の悪化などを背景に世界的に資源高が続いており、特に鉱業や商社株が買われました。年初から世界株式市場は米政策金利上げ観測や地政学リスクの顕在化などで大きく調整してきましたが、今月は戻す展開になりました。しかし、米国では一時逆イールド化がみられ、景気後退懸念も見られるようになってきたことから、引き続きボラティリティの高い相場が続くと考えています。



ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

ありがとうファンドの月間騰落率は8.8%の上昇となりました。世界株が6.6%の上昇でしたので、相対的にアウトパフォームする1ヶ月になりました。参考までに日本株は4.3%の上昇となりました。

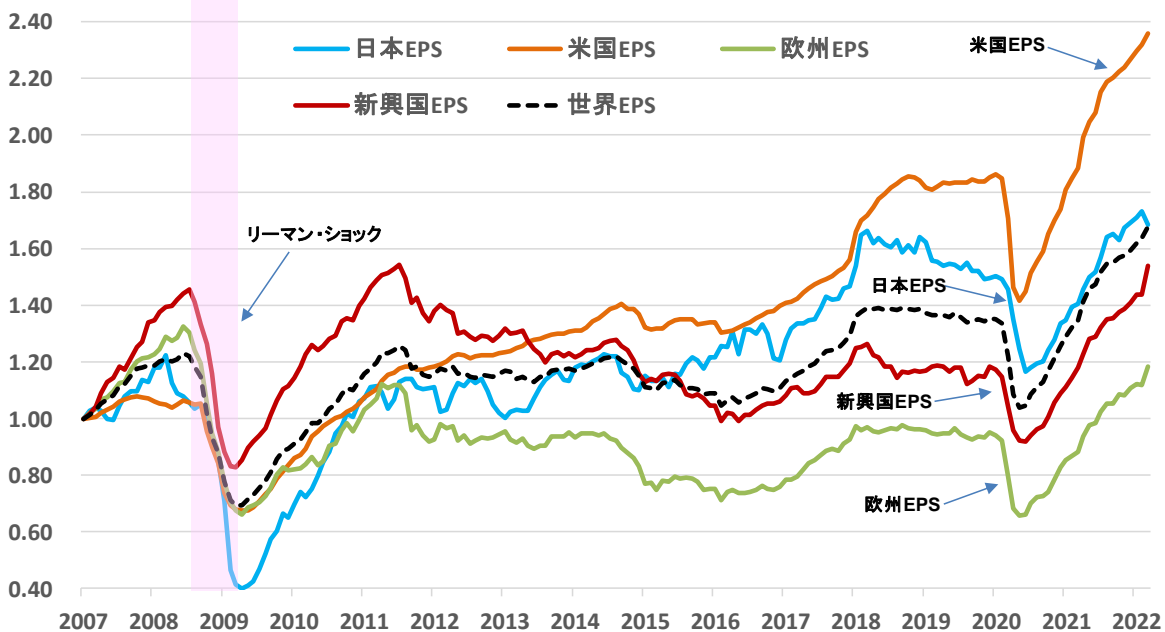
また、今月の売買については、AB アメリカン・グロースを一部買い増しました。



今後の見通しについてはどうなっているのかね？教えてもらえないだろうか。

今後の見通しについては、各種地政学リスク・[新型コロナウイルス](#)など一過性のイベントなどで、短期的には景況感が下振れることがあっても、長期的にはファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の回復・成長のトレンドには変わりはないと考えております。

下図ではリーマン・ショック前からの4つの国・地域でのEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。いずれの国・地域においても固有のリスクはありますが、これからの[中長期での人口動態](#)や、GDP 成長率を見る限り、日本株式市場よりも[エマージング株式市場](#)や米国株式市場など外国株式市場の方が投資対象としては魅力があると考えています。



出所：ファクトセットより、ありがとう投信計算、EPSは2007年月末を1として指数化し2022年3月末までの推移

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

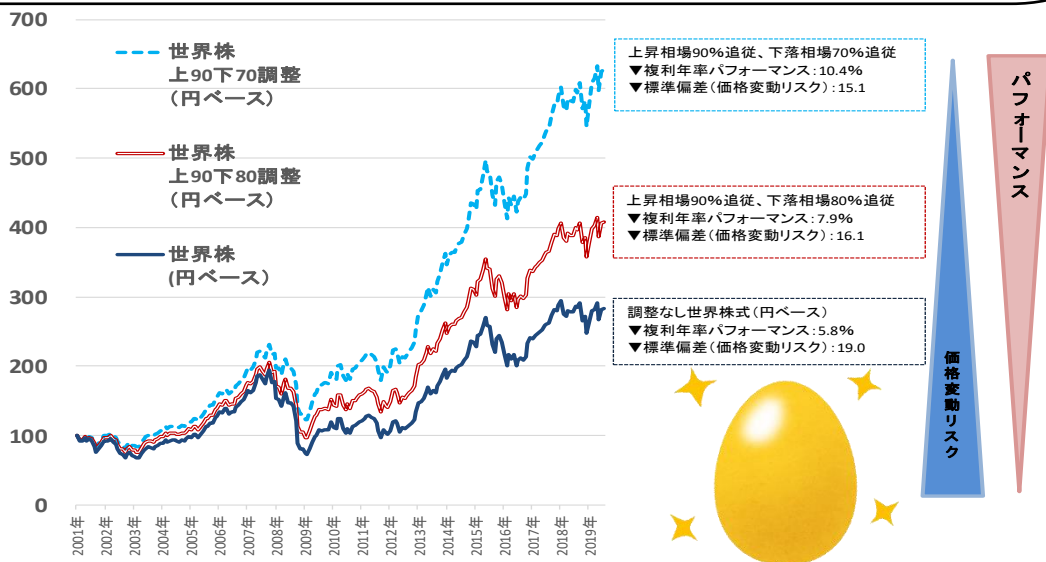
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針についてはどうなっているのかしら。教えてちょうだい。

株式市場という観点から足元の状況を考えると、リーマン・ショック後各国・地域は量的緩和などの金融緩和で各々の経済・市場を支え世界的にカネ余りの状況が続いております。さらにその度合いはコロナショックによる財政出動も併せて政策総動員でさらに強まり、厳しい経済状況にも関わらず株価を下支えました。一方、足元では、金融緩和だけではなく長引くコロナ禍の供給制約なども合わせてインフレ圧力が強まり、米国などでは金融緩和の正常化が本格的に意識され、株式市場では調整ムードが広がっております。今後株価が短期的にどう動くかは誰にもわかりませんが、ありがとうファンドは、高値で売って、底値で買うといったタイミングを見て売買を繰り返すファンドではありません。あくまでも長期的な人口動態の変化に対応できる企業や、革新的な商品・サービスを提供できる企業など、今後の世界経済をリードするビジネスモデルを有した国内外の企業に厳選投資することにより、長期的な世界経済の成長を基準価額の上昇という形で享受することを目標としております。

アクティブファンドという上昇局面で大きく稼ぐといった様な派手なイメージが強いと思いますが、ありがとうファンドでは上昇局面で無理に上値を狙うといった運用よりは市場全体が下落する局面にて市場相対で下げ幅を抑制することにより結果的に長期で安定したパフォーマンスを提供できると考えております。その源泉としては、①実績のある投資先ファンドによる成長企業の厳選、②国・地域別資産配分の見直し・調整、③金ETFなど株式市場と相関が低い資産を組み入れることによる資産分散を主に考えております。下図はあくまでも参考までにですが、上昇局面では90%ほど市場に追従し、下落局面では下落幅を抑制した場合のバックテスト例になります。ダウンサイドリスクを抑制することにより、長期で価格変動リスクを抑えながら運用パフォーマンスを向上できたことが確認いただけると思います。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、株価は2001年1月末を100として指数化し2019年7月末までの推移

注：上昇・下落局面は月次騰落率ベースで判断。平均年率パフォーマンスと標準偏差についても月次ベースのデータから計算

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

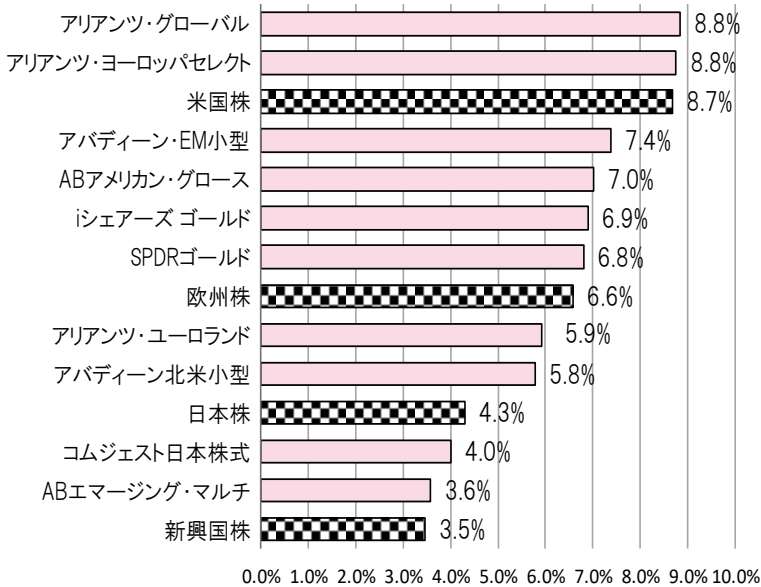


投資先ファンドの状況についても気になる！教えて！教えて！

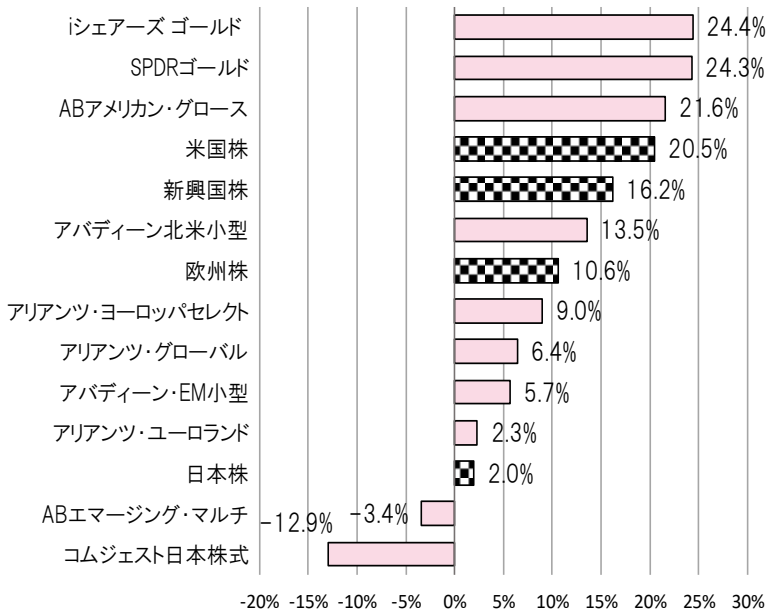


まずは、投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2022年3月末時点)

【月間騰落率】



【年間騰落率】



※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

月間騰落率については、全てのファンドが上昇し、外貨建てのファンドについては円安効果も追い風になり、ありがとうファンドの基準価額上昇要因になりました。特に、前月まで金利上昇によるバリュエーション悪化懸念で下落していたグロース銘柄を中心に投資をしているアリアンツ・グローバル、アリアンツ・ヨーロッパセレクト、アバディーン・EM 小型ファンドが市場平均を上回るパフォーマンスを実現し、当ファンドのパフォーマンス向上に大きく寄与したかたちとなりました。

●投資先ファンドの詳細は下記の『[ありがとうブログ](#)』をご参照ください→

[【米国株ファンド】](#)

[【欧州株ファンド】](#)

[【北米小型株ファンド】](#)

[【新興国小型株ファンド】](#)

[【世界株式ファンド】](#)

●今月の厳選銘柄例:デンマーク企業

[糖尿病領域の課題に全力で向き合う成長企業:Novo Nordisk](#)



マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。(ありがとうファンド運用担当者)



◆投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	アリアンツ・グローバル グロース	世界	11.2%	+8.8%	▲10.7%	▲5.3%	+6.4%	+72.8%		
	世界株 (配当込み、円)			+6.6%	▲0.5%	+7.3%	+14.7%	+54.6%	+77.0%	+12.1%
2	コムジエスト日本株式	日本	3.9%	+4.0%	▲9.3%	▲14.3%	▲12.9%	+31.6%	+70.2%	+11.2%
	TOPIX 配当込み			+4.3%	▲1.2%	▲2.8%	+2.0%	+31.2%	+44.3%	+7.6%
3	ABアメリカン・グロース	米国	20.2%	+7.0%	▲7.7%	+6.0%	+21.6%	+89.7%	+165.6%	+21.6%
4	アバディーン北米小型	米国	13.2%	+5.8%	▲8.6%	+1.1%	+13.5%	+70.9%	+92.5%	+14.0%
	米国株 (配当込み、円)			+8.7%	▲0.8%	+10.3%	+20.5%	+78.6%	+119.4%	+17.0%
5	アリアンツ・ユーロランド グロース	欧州	15.8%	+5.9%	▲13.3%	▲8.1%	+2.3%	+49.3%	+61.9%	+10.1%
6	アリアンツ・ヨーロッパ セレクト	欧州	8.5%	+8.8%	▲12.9%	▲3.3%	+9.0%	+68.1%	+83.5%	+12.9%
	欧州株 (配当込み、円)			+6.6%	▲4.8%	+2.6%	+10.6%	+41.7%	+59.9%	+9.8%
7	ABエマージング ・マルチ	新興国	8.8%	+3.6%	▲3.8%	▲2.7%	▲3.4%	+21.4%	+27.8%	+5.0%
8	アバディーンエマージ ング小型	新興国	13.5%	+7.4%	▲2.8%	+0.2%	+5.7%	+49.4%	+53.3%	+8.9%
	新興国株 (配当込み、円)			+3.5%	▲2.6%	+4.4%	+16.2%	+45.1%	+48.2%	+8.2%
9	iシェアーズ ゴールド・ トラスト	金ETF	2.6%	+6.9%	+13.3%	+19.9%	+24.4%	+63.1%	+67.0%	+10.8%
10	SPDRゴールド・ミニシ ェアーズ・トラスト	金ETF	0.9%	+6.8%	+13.3%	+19.8%	+24.3%	+63.4%		

注：参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

【39紹介プログラムもあるよ♪】

(詳しくは『ありがとう投信ホームページ』>『39 紹介プログラム』をご覧ください。)

ご家族・ご友人

39 紹介プログラム

紹介を受けた方がありがとう投信の
新規口座開設+定期積立1万円以上を
6ヶ月継続していただくことで
紹介したお客さまと紹介を受けた方に感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈！

3/9
START!



◆各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 MICROSOFT CORP.	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	9.1%
2 ALPHABET, INC. Class C	アメリカ	コミュニケーションサービス	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	9.0%
3 AMAZON.COM, Inc.	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	5.4%
4 VISA, INC.	アメリカ	情報技術	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速度かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.2%
5 QUALCOMM, Inc.	アメリカ	情報技術	多国籍半導体・通信機器メーカー。CDMAデジタル技術を基に、デジタルワイヤレス通信製品およびサービスを開発、販売する。世界各地で事業を展開。	4.6%

◎アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・マルチアセット

銘柄	国	業種・種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1 TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	3.3%
2 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	韓国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	3.1%
3 AGRICULTURAL BANK OF CHINA LTD.	中国	金融	国内4大商業銀行の一角。地方都市や農村部を主な事業基盤とする。20年末の営業拠点数は国内が2万2938カ所。海外は支店が13カ所。	2.0%
4 HANA FINANCIAL GROUP, INC.	韓国	金融	国内外の支店を通じて、幅広い金融サービスを提供する。主なサービスは、商業・法人・投資・小売銀行業務、外国為替、証券取引、クレジットカード、受託、インターネットバンキングなど。	1.9%
5 MEDIA TEK, INC.	台湾	情報技術	無線通信およびデジタルマルチメディア・ソリューションのファブリー半導体メーカー。無線通信、高解像度テレビ、光ディスク、DVD、ブルーレイ製品向けのSOCシステムソリューションを提供する。世界各地で事業を展開。	1.9%

◎アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	9.9%
2 LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	フランス	一般消費財	LVMHモエ ヘネシー・ヴィトン(LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE)は、多角化した高級品のグループ。ワインやコニャックなどの酒類をはじめ、香水、化粧品、旅行がばら、時計・宝飾品の製造・販売を手掛ける。	7.7%
3 KINGSPAN GROUP PLC	アイルランド	素材	建築資材メーカー。高品質の断熱材と建物外面システムを世界各国で販売する。	4.7%
4 L'OREAL	フランス	一般消費財	化粧品メーカー。主な製品は、マスカラ、リップグロス、ファン デーション、アイシャドウ、化粧品下地、マニキュア、口紅、フェイスパウダー、頬紅、およびコンシーラーのほか、スキンケア、ヘアケア、およびボティケア製品。	3.9%
5 EUROFINS SCIENTIFIC	ルクセンブルク	資本財	ライフサイエンス企業。安全性、純度などの分析試験を提供する。医薬品、食品、環境、消費財業界向けに分析サービスを提供する。世界各地で事業を展開。	3.6%

◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	9.5%
2 NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に達する。	6.6%
3 DSV A/S	デンマーク	資本財	運輸グループ持株会社。トラック、船舶、航空輸送サービスや倉庫・ロジスティクスなどのサービスを手掛ける。欧州、北米、極東地域で事業を展開する。	6.3%
4 SIKA AG-REG	スイス	素材	建材メーカー。コンクリート混和剤、モルタル、シーリング剤、接着剤、加工用樹脂、静電気防止床材、自動車用音響材、塗膜防水材を製造するほか、請負サービスも提供する。	5.7%
5 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	5.2%

◎アバディーン・スタンダード・ノースアメリカン・スモアラーカンパニーズ・ファンド

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 FIRST INTERSTATE BANCSYSTEM INC	アメリカ	金融	一般預金業務、商業ローン、消費者ローン、住宅ローン、投資商品および信託業務を提供。子会社を通じて、信用生命保険および障害保険向けの再保険も手掛ける。米国モンタナ州とワイオミング州で事業を展開。	2.6%
2 DORMAN PRODUCTS INC	アメリカ	一般消費財	自動車用品・家庭用金物類販売会社。自動車・大型交換部品、締め金具、空気システム、リモートキーレスエントリー、ワイドレギュレーター、ドアロック作動装置、装填ナット、その他の製品を販売する。	2.5%
3 ATKORE INC	アメリカ	資本財	電子部品メーカー。金属製品および電気配線ソリューションの製造、販売に従事する。主な製品は、銅管、電線用銅管、外装線・ケーブル、ケーブルトレイ、金属組立システム、建材など。世界各地で事業を展開。	2.4%
4 VERINT SYSTEMS INC	アメリカ	情報技術	録音・解析ソリューション会社。製品は通信、傍受、デジタルビデオ保安、監視、ビジネス・インテリジェンスなどの分野で使用される。	2.4%
5 MATERION CORP	アメリカ	素材	加工資材メーカー。子会社を通じて、高機能加工資材を製造、販売する。ベリウム、ベリウム合金、電子製品、加工資材システムも提供。	2.3%

◎アバディーン・スタンダード・エマージング・マーケット・スモアラーカンパニーズ・ファンド

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 PACIFIC BASIN SHIPPING LTD	香港	資本財	海運会社。子会社を通じ、大型かつ近代的なハンディサイズ・バルクキャリア(バラ積み船)の船団を使用して、海上輸送サービスならびにロジスティクス・サポートを提供。	3.8%
2 MPHASIS LTD	インド	情報技術	IT、BPO(ビジネスプロセス・アウトソーシング) サービスを提供する。技術、業務委託のカスタム・ソリューションを世界中で提供し、ビジネスプロセスの効率化のサポートを行う。	3.6%
3 FPT CORP	ベトナム	情報技術	ベトナムを代表するIT・通信グループ。主力事業は①テクノロジー部門:ソフト開発受託、システム構築、ITサービス、②通信部門:インターネット回線、TV放送、コンテンツ提供の2本柱。	3.5%
4 CHROMA ATE	台湾	資本財	計測機器メーカー。電子・自動計測機器を製造、販売する。主な製品は、試験・計測機器、自動検査装置、パワーエレクトロニクス、無停電電源装置(UPS)、電気通信システム、工業用コンピューター、特殊材料など。	2.8%
5 ASM INTERNATIONAL NV	オランダ	情報技術	半導体製造機器メーカー。子会社を通じて、半導体機器製造用の部品・器具を設計、製造、販売、サポートする。ウエハー処理、組み立て、梱包の製品ソリューションを提供する製品を、米国、欧州、日本、東南アジアで販売する。	2.7%





◎コムジェスト日本株式ファンド
マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	3月31日時点 組入比率
1 ソニーグループ	日本	一般消費財・サービス	電子製品メーカー。電子製品を製造・販売し、関連ソリューションを提供する。テレビ、カメラ、携帯電話、オーディオ・ビデオ製品、ゲーム機器などを製造。ゲーム制作、映画制作、音楽制作、その他の事業も手掛ける。	4.2%
2 オリエンタルランド	日本	一般消費財・サービス	米ディズニーとの契約のもと、千葉県浦安市舞浜地区で「東京ディズニーリゾート(TDR)」を運営。	4.0%
3 オリックス	日本	金融	世界各地で総合金融サービスを提供する。主な事業にリースおよび住宅ローン、生命保険、銀行、消費者ローンなどがある。そのほか、環境エネルギー事業やプライベート・エクイティ投資事業などがある。	3.7%
4 第一生命ホールディングス	日本	金融	生命保険の募集および販売を行う。同社は法人および個人向け医療・介護保険やがん保険、また企業型・個人型年金商品なども提供する。	3.5%
5 日本空港ビルデング	日本	資本財・サービス	成田・羽田空港で駐車場・売店・免税店の運営などを行う。また子会社を通して飲食店などの管理や機内食サービス業も行う。羽田空港では旅客ターミナルや空港施設などの建設・管理・保守も手掛ける。	3.4%

◎アリアンツ・グローバル・エクイティ・グロース
マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	2月28日時点 組入比率
1 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	5.5%
2 MICROSOFT CORP.	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発・販売している。	5.3%
3 VISA, INC.	アメリカ	情報技術	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.2%
4 AMAZON.COM, Inc.	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	4.9%
5 ADOBE INC	アメリカ	情報技術	印刷および電子媒体で情報の伝達・使用が可能な製品を手掛ける。アプリケーションソフトウェア製品、印字用品のほか、情報作成・配信・管理用のコンテンツを提供。	4.1%

【ありがとうブログも見てね♪】

(詳しくは『ありがとう投信ホームページ』>『[ありがとうブログ](#)』をご覧ください。)

【ありがとう39ブログ・シリーズ♪】

【厳選銘柄紹介】



2022年03月14日(月)

糖尿病領域の課題に全力で向き合う成長企業：Novo Nordisk (デンマーク)

トレンド 投資先パートナー

投資先ファンド・銘柄

運用トピックス

運用者メッセージ



【ありがとうトピックス】



2022年03月09日(水)

第18期ありがとうファンド半期運用報告(2021年8月末~2022年2月末)

運用トピックス

運用者メッセージ



【39クッキング】



2022年03月25日(金)

39クッキング【青パパイアでトライ!!!】

ライフ

【39 ツアー:おわら風の盆】



2020年08月31日(月)

39ツアー【富山:おわら風の盆】

ライフ

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

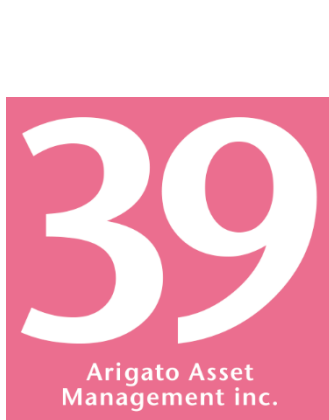
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。
※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。
【日本株】→ TOPIX 配当込み(税引き前配当再投資)
【世界株】→ FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)
【米国株】→ FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)
【欧州株】→ FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)
【新興国株】→ FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)



■R&I ファンド大賞について

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。